

4-4 施設分類別の再編内容

ここでは、次に示す施設分類別（11 分類）の課題、再編方針と再編内容、施設規模の推移、累計コストの概算を示します。

- (1) 本庁舎・支所
- (2) 消防施設
- (3) 学校施設
- (4) 子ども・青少年施設
- (5) 子育て関連施設
- (6) 福祉関連施設
- (7) 生涯学習施設
- (8) 図書館
- (9) スポーツ施設
- (10) 文化施設・鎌倉芸術館（先行事業）
- (11) 市営住宅（先行事業）

本節に関する補足事項

計画期間について

- ・40年間の計画期間のうち、短期（6年間：平成26～31年度）、中期（12年間：平成26年度～37年度）及び長期（40年間：平成26～65年度）に分けて整理します。

コスト算定について

- ・コストの算定では、従来型と再編後のコストについて比較を行っています。

従来型：現在、提供している公共サービスの内容（維持管理や事業運営等）や施設面積を維持し、建設してから30年目に大規模改修、60年目に建替えた場合のコスト。

再編後：施設分類ごとの再編内容に従い、公共サービスのあり方や施設面積を見直した場合のコスト。（再編後の跡地については、全て借地とする想定で算定：借地料収入はマイナス表示）

※コストの算定条件は、資料2に示します。

深沢地域整備事業用地に移転する施設について

- ・施設分類別の再編内容において、深沢地域整備事業用地に移転する計画の施設については、当該事業の進捗状況により再編内容、スケジュール及び移転先についても変更となることがあります。

岡本二丁目用地の活用について

- ・平成26年10月に寄附を受けた岡本二丁目用地への導入機能については、本計画の基本的な方向性や考え方を踏まえた上での検討を進めています。用地活用の基本計画策定、事業実施に向けた具体的な取組にあたっては、必要に応じて本計画へ反映する等の対応を行うこととします。